

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	26	事業名	公民館事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	-----	-------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える			
		施策の進め方	1	自主的な学習の支援			
	まちづくり行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ① 公民館の管理を行う。 ② 公民館において、市民が興味を持つ講座を開講する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 公民館：公民館利用者(市外の方も可) 講座：市内在住、在勤、在学の方(ただし、講座によって市外の方も可)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民及び公民館利用者の居場所づくり及び仲間づくりを支援する。					
	事業を構成する事務事業	① 公民館施設管理事業	継続	④			
	② ながくて・学び・アイ講座事業	継続	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							3,685
人件費(B)	千円	決算					5,042
総コスト(A)+(B)	千円	決算					8,727

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 公民館利用者数	人	目標	47,000	47,000	52,000	57,000	
			実績	46,421	51,034	56,073	54,040	
	B 受講生募集講座数に対する開講講座の割合	%	目標	50	55	65	85	
			実績	53	64	84	69	
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 目標は、前年度利用者数から1000の単位で繰り上げ								
B 市民のニーズに合った講座を受講生募集可能講座とし、開講可能講座数の充足を目標とする。(開講決定講座/募集講座)目標は前年度実績を参考に決定する。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の尾張旭市、瀬戸市、日進市、豊明市で講師募集型講座を実施。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成26年度に比較し、講座の開講数及びサークルの立ち上げが目標を下回ったため、公民館利用者も減少した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 受動的に講座に参加するという考えでなく、「講師と受講生がお互いに学びあう」ことを意識し、公民館で生涯学習講座を開講することから目標達成の難しさがある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域の生涯学習の場である公民館を適切に管理する。また、講座に参加してもらう、生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとし、講座終了後も自主的にサークルを立ち上げ活動できるよう講座を行っているうちから学習サークルの設立案内等行う。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	公民館事業							
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

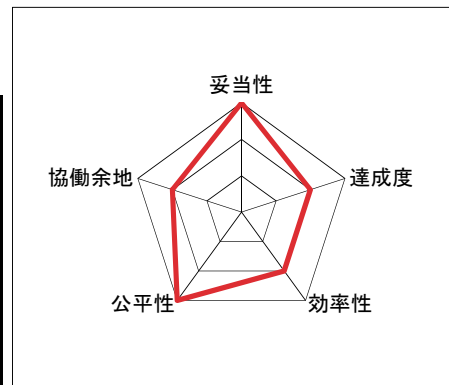
番号	①	事務事業名	公民館施設管理事業												
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民及び公民館利用者にとって、交流や学びの場となる公民館の管理・運営を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民及び公民館利用者の居場所づくり仲間づくりとなる施設の運営を行う。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,256
		決算				3,125

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
公民館利用者数	人	目標	47,000	47,000	52,000	57,000	
		実績	46,421	51,034	56,073	54,040	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

地域の生涯学習の場である公民館を適切に管理する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

消費税増税に伴う使用料の改定

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名		公民館事業										
番号	②	事務事業名	ながくて・学び・アイ講座事業									

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内在住、在勤、在学の方(ただし、講座によっては一定期日までに募集定員に満たなければ市外の方も可)を対象に公民館において、市民が興味を持つ講座を開講する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が受講生として学ぶだけでなく、講師として教えるながくて・学び・アイ講座をとおして居場所づくり・仲間づくりの場を提供する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				696
		決算				560

3. 活動推移

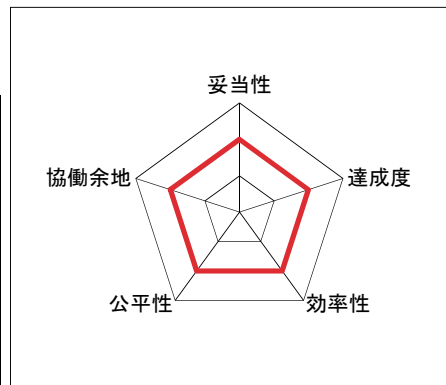
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
チラシ配布枚数	枚	目標	1,000	1,260	3,000	4,500	
		実績	1,000	1,260	3,000	4,500	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成26年度に比較し、講座の開講数もサークルの立ち上げも少なかった。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 講座に参加するしてもらうことで、生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとし、講座終了後も自主的に学習サークルを立ち上げ活動できるよう講座を行っているうちからサークルの設立案内等行う。
